

さくらんぼを「作りこなす」、東根の技術集団

— 加温栽培導入による経営革新 —

東根市農業協同組合加温さくらんぼ生産組合（東根市）

1 受賞者の概要

さくらんぼの加温栽培により、高価格販売や霜害対策、作業分散による経営改善を図ることを目的に、平成 21 年に設立された。

加温栽培組織としては、県内随一の面積と組合員数を誇る中、会員同士の切磋琢磨と技術研さんにより得られた高い市場評価は、露地ものも含めた地域全体のブランド力形成に大きく寄与している。



園地巡回指導の様子

2 特色ある活動

(1) 早期出荷による高価格販売

加温栽培の最大の魅力は高価格販売にある。特に、超加温栽培（2月下旬～3月出荷）においては、県園芸試験場の研究成果をもとに現地実証に取り組み、技術開発を進めた結果、kg当たり8千円～10千円以上の単価が確保されており、農業経営の柱の1つになっている。

(2) 多様な作型と長期出荷によるブランド力向上と経営改善

多様な作型を導入し、2月出荷の超早期加温から7月までの長期にわたり、市場をリードしながら継続出荷を行うことで、ブランド力向上に寄与する一方、生産者の労力分散が図られることで雇用確保にも好影響を及ぼすなど経営改善にも結び付いている。

(3) 部会活動による技術の蓄積と地域全体への波及

組合設立前より引き継がれた地域単位の活動や、県内他産地との交流、若手育成を図りつつ、技術向上と普及を進めている。また、当初、加温栽培で普及が進んだウルミ果・裂果対策技術等は、現在、露地・雨除け栽培園地の安定生産にも活用されることで、産地全体の底上げに結び付いている。

3 今後の発展方向

今後一層の技術向上により、更なる早期出荷と品質の安定化を図り、「バレンタインデー商戦」向け生産等にも取り組みながら、一層のブランド力向上、経営の安定を図っていく。